



平成 28 年 2 月 5 日

各 位

東京都港区港南三丁目5番14号
ヒビノ株式会社
代表取締役社長 日比野晃久
(コード番号: 2469)
問い合わせ先: ヒビノ GMC 経営企画本部長
大 関 靖
電 話 番 号 : 03-3740-4391

業績予想の修正及び配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 11 月 6 日に公表しました業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 29,000	百万円 2,850	百万円 2,900	百万円 1,800	円 銭 359.64
今回修正予想 (B)	30,000	3,550	3,600	2,200	439.56
増 減 額 (B-A)	1,000	700	700	400	
増 減 率 (%)	3.4	24.6	24.1	22.2	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	19,220	1,257	1,350	755	151.00

(2) 修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）は、音響機器販売・施工事業において、特定ラジオマイクの周波数移行に伴う特需の勢いが継続し、Shure ブランドのワイヤレスシステムの販売が大幅に伸長したこと等により、計画を大きく上回って推移いたしました。また、コンサート・イベント事業においては、ドーム、アリーナ等の大規模会場でのコンサートツアー案件が増加したことや、東京モーターショーにおける映像演出の規模が拡大したこと等が好影響をもたらしました。さらに第 4 四半期には、特定ラジオマイクの需要がいつそう高まることが予測されることに加え、特需以外の見込み案件についても計画どおり進捗していることから、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回予想を上回る見通しであります。

これらの結果、売上高 30,000 百万円（前回予想比 3.4%増）、営業利益 3,550 百万円（同 24.6%増）、経常利益 3,600 百万円（同 24.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 2,200 百万円（同 22.2%増）に上方修正いたします。

(注) 業績予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. 配当予想の修正（特別配当）について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末（中間）	期末	合計
前回予想 （平成27年11月6日発表）	—	20円00銭 （普通配当20円00銭）	40円00銭 （普通配当40円00銭）
今回修正予想	—	60円00銭 （普通配当20円00銭） （特別配当40円00銭）	80円00銭 （普通配当40円00銭） （特別配当40円00銭）
当期実績	20円00銭 （普通配当20円00銭）	/	
前期実績 （平成27年3月期）	25円00銭 （普通配当15円00銭） （記念配当10円00銭）	15円00銭 （普通配当15円00銭）	40円00銭 （普通配当30円00銭） （記念配当10円00銭）

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと認識し、経営体質を強化するために必要な内部留保と成果配分とのバランスを勘案しながら、安定配当を継続していくことを基本方針としております。

当期の連結業績は、特定ラジオマイクの周波数移行に伴う特需が大きく寄与し、売上高及び各利益はいずれも前回予想を上回り、過去最高を達成する見通しであります。

つきましては、株主の皆様への利益還元を図ることを目的として、平成28年3月期の期末配当予想を、1株当たり普通配当20円、特別配当40円の合計60円とさせていただくことといたしました。この結果、すでに実施しております中間配当金20円と合わせた年間配当予想は、1株当たり40円から80円となります。

以 上